宮島歴史民俗資料館

厳島神社の出口側、主な観光ルートからやや外れた場所にある宮島歴史民俗資料館ですが、探し出して訪れる価値のある資料館です。宮島の歴史を詳しく紹介するこの資料館は、19世紀初頭に建てられた、裕福な商人が暮らしていた当時の佇まいを残す保存民家、宮島の一般的な民家、および現在展示館として使われている隣接する複数の建物で構成されています。歴史を感じる多彩な工芸品、記録文書、美術品などが展示され、主に江戸時代（1603～1868）以降の宮島での生活を知ることができます。

地理、年中行事、伝統木工芸、京の都の貴族との関係など、宮島に関して幅広く紹介しています。中でも、展示館Dで上映される映像は見どころです。英語の字幕付きで、興味深い宮島の歴史を視覚に訴える方法でわかりやすく説明しています。展示品を一通り見て回ったら、国の登録有形文化財である保存民家の畳の部屋でひと休みしながら、資料館の建物に囲まれた小さな中庭を見渡せます。